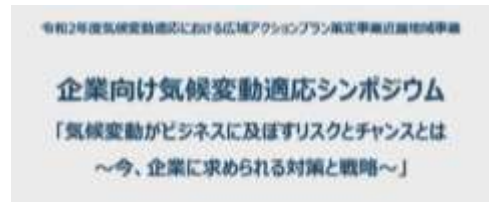


令和2年度気候変動適応における広域アクションプラン策定事業
近畿地域事業

企業向け気候変動適応シンポジウム

「気候変動がビジネスに及ぼすリスクとチャンスとは
～今、企業に求められる対策と戦略～」を開催しました。



【日時】 令和2年11月17日（火）13：30～16：00

【方法】 オンライン（WebEX 開催）

【参加者】 67名

<主催>環境省、近畿地方環境事務所 <協力>経済産業省近畿経済産業局

今年は新型コロナの影響を受け、オンラインでの開催となりました。当日は、多くの方にご参加頂きました。

プログラムの第1部では、株式会社りそな銀行 副会長 小坂 肇 様より、基調講演を行って頂きました。そして、第2部のパネルディスカッションでは、各パネリストより実際の実例などをご紹介頂き、意見交換を行いました。

【第1部：基調講演】

「金融機関における気候変動・SDGs への取り組み ～SDGs でビジネスチャンス～」

株式会社りそな銀行 副会長 小坂 肇 様

第1部では、「金融機関における気候変動・SDGs への取り組み～SDGs でビジネスチャンス～」をテーマに株式会社りそな銀行の小坂様に基調講演を行って頂きました。まず初めに「金融機関における地球温暖化・気候変動への対応」をご紹介頂きました。次に、「SDGs への取り組み～環境・社会課題をテーマにした対話～」についてご紹介頂きました。続いて、「りそな銀行の気候変動・SDGs への取り組み～りそなグループのアクションと支援事例～」をご紹介頂きました。最後に、「SDGs を経営に取り込むための展望」をご紹介頂きました。ご紹介頂きました取組は、気候変動やSDGs への取り組みを事業につなげると同時に、地域に貢献をしている大変興味深いもので、業種を超えてあらゆる民間事業者様に、参考にして頂ける内容でした。



(写真：株式会社りそな銀行
副会長 小坂 肇 様)



(写真：基調講演の様子)

【第2部：パネルディスカッション】

「気候変動がビジネスに及ぼすリスクとチャンス～今、企業に求められる対策と戦略～」

●パネリスト

株式会社りそな銀行 コーポレートビジネス部部长 渡部卓司 様

特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事 藤村雅彦 様

経済産業省産業技術環境局環境政策課 地球環境連携室 室長補佐 齊藤瑞希 様

環境省地球環境局総務課気候変動適応室 高橋一彰 室長

●モデレーター

株式会社地域計画建築研究所（アルパック） 取締役兼名古屋事務所長 畑中直樹 氏

第2部では、「気候変動がビジネスに及ぼすリスクとチャンス～今、企業に求められる対策と戦略～」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

はじめに、パネリストの皆さまより話題提供を頂きました。環境省の高橋室長からは「気候変動適応について」、経済産業省の齊藤様からは「気候変動情勢と適応ビジネス」について、最後に、特定非営利活動法人事業継続推進機構の藤村様からは「事業環境変化への適用について」ご紹介頂きました。

続いて、「気候変動がビジネスに及ぼすリスクとチャンスの視点から、企業に求められていること、考えていくべきこと」と「企業活動における気候変動適応の主流化に向けて」の2点から、パネリストによる活発な意見交換が行われました。

「気候変動がビジネスに及ぼすリスクとチャンスの視点から」については、

- ・企業では BCP の観点からリスク対応の機運が高まっている一方で、サプライチェーンまでのイメージはできておらず、その確認から始める必要がある。
- ・何も準備しないことが何よりのリスク。世界に目を向けた情報収集が必要で、それがチャンスになる。
- ・BCP の観点からも事業リスクを分散、低減することで新しいビジネス創出につながる。
- ・サプライチェーンの見直しにおいて、IoT やデジタル化等の新たなイノベーションの創造により、新たな対応が可能となる。

などの意見が交わされました。

「企業活動における気候変動適応の主流化に向けて」については、

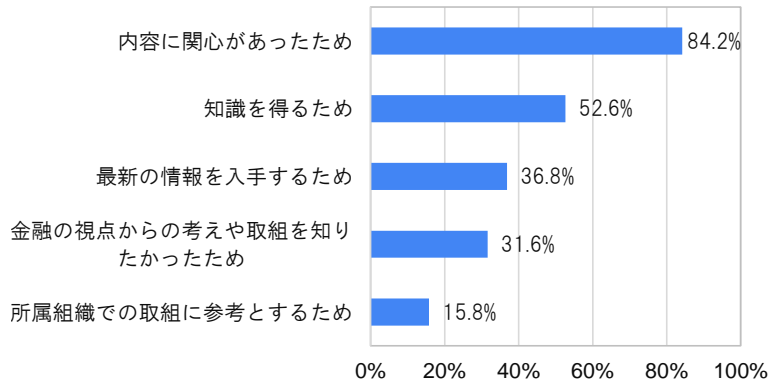
- ・ボトムアップの取組が重要であり、それが経営方針にも位置付けられていく。
- ・自社のリスクに仮説を立て、経営資源内でできること、それ以外でやらないといけないことを確認することが大切である。
- ・適応は、ニッチな課題を発掘することなので、誰にでもチャンスがある。
- ・中小企業の多い関西ではサプライチェーンを通して、段階的に広がっていくであろう。
- ・コロナの教訓を忘れず、気候危機もどのようにリスクに対処すべきか考える必要がある。

などの意見が交わされました。

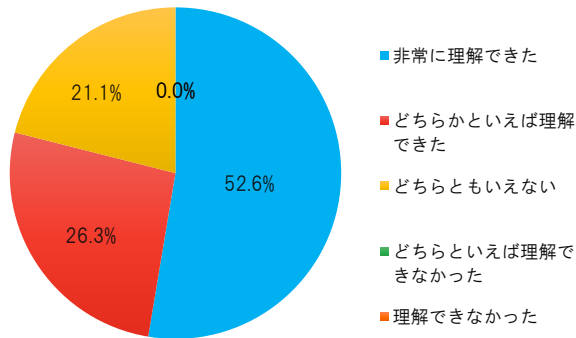
その他、参加者からの質問についてもパネリストの方々に回答いただきました。

【参加者アンケート結果】

● シンポジウムに参加した理由 (N=19)



● 「気候変動適応」を理解できたか (N=19)



● 本シンポジウムを契機に、企業における「気候変動適応」の重要性を感じたか (N=19)

